

日本医師会の取組

公益社団法人 日本医師会

2017年6月

「抗微生物薬適正使用の手引き 第一版」(厚生労働省作成)の周知

- 医師が抗微生物薬を使用する際、常にAMRを意識すべき
- 臨床現場において、この手引きがAMRへの意識を高める契機に

留意点

- ◆ 正確な診断が大前提
- ◆ 抗微生物薬を必要としている場合の使用が遅れない
- ◆ 診断が確定できない場合の使用がありうる
- ◆ 合併する疾患の有無、年齢への配慮が不可欠
- ◆ 手引きを機械的に当てはめない

薬剤耐性（AMR）対策 日本医師会の取組

ワンヘルスの取組

日本獣医師会との連携シンポジウム

世界医師会と世界獣医学協会が覚書を2012年10月に締結し、わが国においても、獣医師と医師との連携ならびに協力体制を強固なものとし、安全で安心な社会の構築に向け、2013年11月20日に日本獣医師会と日本医師会は学術協力の推進のための協定書を締結した。

2014年10月以降、現在までに連携シンポジウムを5回開催。

人と動物の一つの衛生を目指すシンポジウム

～人獣共通感染症と薬剤耐性菌～ 2016年3月20日

主催：厚生労働省

共催：日本医師会、日本獣医師会等 於：日本医師会館

第2回世界獣医師会・世界医師会“One Health”に関する国際会議

2016年11月10日、11日

2016年11月10日、11日

第2回世界獣医師会・世界医師会 “One Health”に関する国際会議

2日間にわたり、約30の講演等が行われ、“One Health”の概念に基づき行動し、実践する段階に進む決意を示した「福岡宣言」が満場一致で採択された。

2017年11月

**日本医師会・日本獣医師会連携シンポジウム
「薬剤耐性（AMR）のワンヘルス・アプローチ」**

主催：厚生労働省、日本医師会、日本獣医師会、農林水産省

開催日時：平成29年11月27日（月）13:00～17:30

会場：日本医師会館